

コード	102010101
記入日	H23.6.7

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	横浦 利一

# 事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	「しま」への修学旅行補助事業
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	102	施策名称	しまの交流ネットワークづくり	項コード	1
基本事業コード	10201	基本事業名称	地域間交流の推進	目コード	3
事務事業コード	1020101	事務事業名称	「しま」への修学旅行補助事業費	細目コード	140
関連計画	法令・条例規則等		長崎県「しま」への修学旅行推進事業		

## 計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 県内の公立小中学校	(対象指標1) 583校 (H22.5.1現在)				
(対象2)	(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
*****	<ul style="list-style-type: none"> <li>「しま」への修学旅行推進事業を活用し、本町へ修学旅行を実施した学校に対して補助を行う。</li> <li>補助対象経費に対して、県1/2、実施町1/4、受入町1/4負担。</li> <li>平成22年度実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>→波佐見町立南小学校</li> <li>→東彼杵町立音琴小学校</li> <li>→東彼杵町立大楠小学校</li> </ul> </li> </ul>	① ***** 招致回数	1回	100%	招致回数1回+ 予定回数1回 ***** 平成22年度
		(達成率分析)	予定通りの招致を実施した。		
		②			
		(達成率分析)			
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
		① ***** 修学旅行学校数	3校	100%	修学旅行学校数3校+ 予定学校数3校 ***** 平成22年度
		(達成率分析)	予定通りの学校数が修学旅行で訪れた。		
		② ***** 修学旅行生徒数	79人	100%	修学旅行生徒数79人+ 予定生徒数79人 ***** 平成22年度
		(達成率分析)	予定通りの生徒数が修学旅行で訪れた。		

## 実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 17 ~ H 22		21年度以前	22年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 回	6	6	5	1	1
	②					
成果指標	① 校	17	17	14	3	3
	② 人	428	428	349	79	79
総事業費 C (A+B)	千円	5,144	5,144	4,283	861	861
直接事業費 A	千円	944	944	783	161	161
人件費 B	千円	4,200	4,200	3,500	700	700
内訳	従事職員数	人	0.6	0.5	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	5,144	5,144	4,283	861	861

**評価 (CHECK)**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	●はい いいえ	理由	修学旅行を通じて「しま」への理解を深めることは必要であり、交流人口の増大につながった。また、町の負担は1/4であり、地域経済効果を考えると有効であった。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	●はい いいえ	理由	県の補助事業 (H16~H22) で効果があるため必要だった。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	●はい いいえ	理由	県内公立小学校の児童に「しま」を体験させ、理解を深めることは適切である。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	●はい いいえ	理由	「しま」への交流人口を増加させ、地域経済の活性化が図られた。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	●はい いいえ	理由	「しま」(本町)の豊かな自然や文化情報等を発し、訪れる学校を増やすことができた。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	●はい いいえ	理由	「しま」への理解と交流人口の拡大が図られない。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	●はい いいえ	理由	類似事業は他にないため整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	●はい いいえ	理由	県の施策(補助事業)を活用しており、削減することはできなかった。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	●はい いいえ	理由	最小の人員で行っており削減はできなかった。
	・受益者負担は適正でしたか。	●はい いいえ	理由	受益者負担は発生しない。

**改善 (ACTION)**

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点	長崎県「しま」への修学旅行推進事業費補助金実施要綱が平成22年度で廃止されたことに伴い、この事業も同年度で終了となるが、平成23年度より長崎県が「しま」体験活動支援事業費補助金の制度を創設したため、この制度を活用し本町も平成23年度より新たな修学旅行等の誘致活動に取り組むこととしている。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	特になし。
2次評価	今後も交流人口の拡大や地域経済効果につなげるよう「しま」の魅力について積極的な情報発信等を展開すること。また、助成するだけでなく関係機関と連携し、新たな観光資源の開発も検討すること。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。